



教育委員会だより

「多久から発信！SDGs③」

「佐賀県建設業協会出前授業」を受けて

9月19日、私たち東部校8年生は、キャリア教育の一環として、佐賀県建設業協会の皆さんからお話を聞く機会をいただきました。当日は10名ほどの方から説明があり、建設業としての仕事内容や機械の操作方法、道路のしくみや災害後の復旧作業のことなど、知らないことばかりで、驚きや新しい発見が沢山ありました。

シミュレーターで重機のゲームをしたり、本物の重機に乗ったりして、普段できない貴重な体験をさせてもらいました。高所作業車の運転資格は、作業車の種類に応じて変わるそうです。バックホウ(ショベルカー)に乗ったときは、操作が難しかったけれど、建設業協会の方のように私も素早く動かしてみたいと思いました。

建設業は力仕事で男性が多いと思っていましたが、パソコンを使った仕事もあり、イメージが変わりました。ゲームが好きなのにも向いている仕事だと聞いて、親近感が湧きました。今は女性にとっても働きやすく、やりがいがある職場だとわかり、将来の選択肢が増えたと思います。それぞれの現場で人間の経験と判断が必要のため、Aに奪われることのない職業だと聞いて、すごいと思いました。

この授業を受けて、建設業は身近にあり、私たちの安全な生活を支え、人を守ってくれていることがわかり、本当に感謝しました。

東原祥舎東部校 8年1組

8 働きがいも経済成長も

5 ジェンダー平等を実現しよう

11 住み続けられるまちづくりを

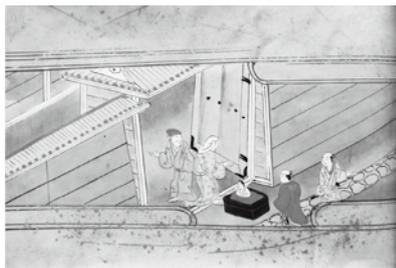
古賀 悠里
荒嶋 健志郎
木下 将磨
森下 彩夏
広橋 夏李

連載

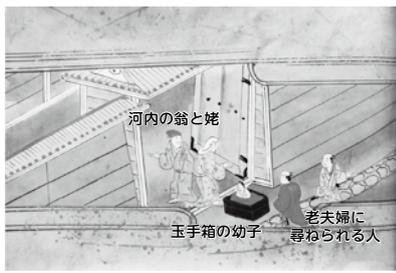
紫式部・和泉式部・小式部の物語 挿絵(7)

多久家資料『小しきふ(小式部)』を編集

『小式部(下)』挿絵7 幼子と姥翁が出逢う話



和泉式部は子を授かります。事情があり、幼子を東寺の門に捨てますが、老夫婦に拾われます。



和泉式部は宮仕えすることになり、十七歳の春の頃に懐妊し、とても上品で美しい姫を産みました。しかし、物語は次のように意外な話をしていきます。

和泉式部は「乳母をつけて育てたいが、殿上人に仕える身でありながら、いつの間にか子持ちになったとなれば、それで片付くわけではない。誰かに拾ってもらおう」と思いました。金と銀で覆輪を付けた手箱を作り、蓋の上に時絵で和歌を書かせ、様々な色の衣を敷き、その子を入れました。従者に抱かせ、東寺の門へ向かい、唐居敷の上に置いて帰りました。思い切りでしたが、子どもを偲び夜昼なく涙を流しました。とても気の毒なことです。

ちよつごこの時、河内の国から姥と翁が上京し、清水寺に参詣して籠り「自分たち亡き後を供養する子を授けてください」と祈ったのですが、御利益はなく寺を出ました。そして、東寺にも参り祈願をしました。寺の回り角を過ぎて少し休んだところ、美しい箱を見付けました。取り上げてみると、とても良い香りがし、蓋を開けると、玉を敷き詰めたような娘がいました。不思議に思い、辺りの人に尋ねてみましたが、誰もが知らないというのです。「挿絵7」姥と翁は「これは清水寺の御計らいに違いない」と嬉しう思い、抱きしめて自宅へ帰り、大切に育てられたと、物語は記されています。

※原本の挿絵は色絵になっています。郷土資料館に写真を掲示していますので、お立ち寄りの際にご覧ください。

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

わがいかに世間知らずかと知らされし夏は過ぎゆく「いろはにはへと」

尾形 節子

限界を越えた自分に会いたくて

困難さえも笑顔で生きたる 野崎 隆幸

好きですと言えなかつたね初恋よ

思い出話いっぱいしたい 梶原恵美子

打ち水をしたる後より草引けば

地の温もりの手より伝わる 川浪 信子

二百円握りふれあいバスに乗る

気取らぬ会話車中和やか 浦野 嘉恵

白秋や二通したたむ厚き文

レシートを机上に並ぶ夜長かな 本村 則子

谷底のうす日に育つ今年米

通夜よりの小径に沈みる虫の声 武富 律子

月光に予後の身内を横たふる

富樫 明美

森林浴心の垢も消えていく

節介屋口だし手だし困ったもん

苦も楽も越えて傘寿のクラス会

歳月を手繰り寄せてるクラス会

混むレジで財布忘れたのに気付く

田代まつこ

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

俳句 《大石ひろ女選》

川柳 《多久川柳会 互選》